

## 活動テーマ

## 身近なところから SDGs、小さなつかう責任をもって

### 実践事例について

本校高等部では、作業学習の取組として、地域清掃や紙工(紙漉き)を行っている。毎週近隣地域に出かけ、道路脇に捨てられているごみや空き缶などを集めたり、年間通して全校から提供を受けた牛乳パックや不要紙をリサイクル製品化したりする活動を通して、生徒たちは学びを深めている。このような生徒たちの活動は、地域社会や学校全体に向けて、環境や資源を大切にすることをメッセージの発信にもなっている。

#### 1 学校紹介

本校は、福祉・文化ゾーンの中に、平成3年4月1日に知的障害と肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校として開校し、令和2年に創立30周年を迎えた。開校当時は103名の児童生徒であったが、今年度は3.5倍を超える370名が在籍している(令和5年10月1日)。児童生徒は校区である大津市南部と草津市全域から、スクールバスや保護者送迎で、また、公共交通機関や自転車を使って通っている。隣接する「びわこ学園医療福祉センター草津」内にある校舎や訪問教育として家庭で学ぶ児童生徒もいる。すべての児童生徒が、豊かに人と関わりながら、生き生きと学校生活を送り、将来に向け、たくましく生き抜く力を育むことを目指している。

#### 2 対象生徒

活動に取り組んだのは高等部の生徒15名からなるグループである。本グループの実態としては、集団に入ることが難しい生徒や、一人では活動に気持ちが向きにくい、教師を支えに学習に向かうことができる生徒、自分から「やりたい!」と積極的に取り組もうとする生徒など様々である。思いや要求の表現については、発声や表情などで伝える生徒や、ジェスチャーで伝える生徒、発語で伝える生徒などがいる。作業学習では、様々な道具を使用したり、友だちと協力したり、報告を意識したりしながら活動している。道具を扱う機会が少なく、不慣れな生徒も多いが、本人の「やってみよう」、「やりたい」という思いや主体的な姿を大切にしながら、仲間と一緒に活動する中で、喜びや楽しさ、達成感を実感できるよう、様々な活

動に取り組んでいる。

#### 3 エコ・スクール活動の取組

##### (1) 活動項目

- ① 地域清掃
- ② 紙工(紙漉き)「牛乳パックから新たな紙に」
- ③ シュレッダー作業
- ④ 空き缶つぶし

##### (2) 活動内容

###### ① 地域清掃

毎週火曜日の午前、学校を出発して約1時間20分のコースを教師含めて22名でゴミ拾いを行っている。全員でまず集合して何をやるか活動の説明や持ち物の確認をする。毎時間、同じことをしっかりと確認することで見通しやつもりをもってゴミ拾いを行うことができる生徒がたくさんいる。地域の施設のバス停によくたばこの吸い殻があるが、なくなるまできれいにとることができている。数年間取り組んできたことで、近年はたばこの吸い殻が落ちていることが少なくなっている。定期的に清掃していることがごみのポイ捨てを減らす効果があるのではないかと考えている。また、地域の方と出会うこともありお互いにあいさつを交わし、小さな交流の場にもなっている。



## ②紙工（紙漉き）

毎日の給食の牛乳パックを再利用して新たな和紙を作っている。紙工では、『牛乳パック切り』『線引き』『フィルムめくり』『ミキサー』『紙漉き』の5つの工程（班）に分かれて取り組んでいる。



一昨年度は紙工で作成した和紙を使ってカレンダーを印刷し保護者に販売をした。昨年度はコースター、今年度はランプシェードを作成したり、卒業生に向けての「そつぎようおめでとう」メッセージの台紙などに活用したりしている。また、「南笠東学区合同フェスタ」に本校の作品を出展した折に、この和紙に「くさつようごがっこう」と学校名を表記し、本校からの作品と一緒に展示した。

## ③シュレッダー作業

シュレッダーの活動は、ハンドシュレッダーに紙を入れ、ハンドルを回すだけで紙が細くなることに活動の分かりやすさとできた実感があり、生徒は一定時間集中して取り組める活動である。使用する紙は学校でのミスプリントなどの不要な紙を使っている。

製作工程を応用して何か使えるものを作れないか検討し、ペン立てやトレイを作ることにした。シュレッダーで細くなった紙を原料としてマルチトレイを製作し文化祭で保護者に販売した。シュレッダー後の紙を水と混ぜ、水分を絞り、ボンドを混ぜる。そこにアクリル絵の具を入れ、好みのカラーにしている。型になるケースにラップを敷き、材料を入れ、手で上から押すことで形になる。クラスの実態を踏まえ、分かりやすい工程にしたり、生徒が得意なことを生かせる作業内容にしたりするなど工夫した。作業に慣れてくると短い時間の取組で仕上がり、数日経ち乾けばラップを外し完成になる。完成したケースは、文化祭で販売した。不要紙がきれいで便利な品物に変身していることに驚きと感心のお声をいただくことができた。



## ④空き缶つぶし

本校の職員から集めた空き缶を生徒の活動に使っている。空き缶つぶしの活動自体はとても分かりやすいため、集中して取り組める生徒が多い。

これまで空き缶をつぶして終わりになっていたが、今年度にはリサイクル業者『株式会社 がんさん』に回収に来てもらった。1kgあたり60～80円で買い取っていただいている。生徒の活動が空き缶のリサイクルに貢献するだけでなく、働いたことで対価が得られるという社会経験にもつながるといふ貴重な学習になっている。



これまで作業学習として続けてきた学習活動であるが、エコ・スクールの取組の視点で見つめなおすと環境活動や環境保全活動につながることが再認識できた。生徒が主体的に取り組み、達成感ややりがいを感じ、地域の方や保護者、先生たちに喜んでもらえることにもつながっている。生徒たちにとっても自分たちの力で形あるものを創ることができ、卒業後の自立と社会参加にもつながる活動になっている。今後も引き続き継続して取り組んでいきたい。

学校名	滋賀県立草津養護学校
住所	草津市笠山八丁目3-111
電話番号	077-566-0012
E-mail	Mb85e@pref-shiga.ed.jp.